1995年8月10日第三種郵便物許可（毎週1回水曜日発行）2017年2月1日発行 増刊通巻第6976号SSKS 月刊きょうされんTOMO No.443付録

きょうされん第40回全国大会 in 北海道実行委員会事務局・広報局　発行　第4号

つなげよう時計台の街から

〒065-0033 札幌市東区北33条東14丁目5-1 社会福祉法人さっぽろひかり福祉会内事務局
TEL:011-743-3009 / FAX:011-731-0211

9月15日・16日開催　全国大会in北海道

細川久美子副実行委員長より参加を呼びかけます

「きょうされん第40回全国大会in北海道」の今年、——緑ゆたかな北海道へ ぜひ、おいでください——

副実行委員長 細川 久美子

2017年の新しい年を迎えた北海道は、昨年末からの厳しい寒さと50年ぶりと言 われる大雪に見舞われ、私たち障害者団体にとっては一番活動が出来にくく、また、遠い春を心待ちにする季節でもあります。しかし今年は、記念すべき「きょうされん 第40回全国大会」がこの北海道で9月に開催されることが決まり、昨年から「参加した人たちが良かった」と思える大会にしたいとの思いを受け止め、北海道実行委員 会のみんながんばっています。障害と言う差別と偏見の中で、一生懸命生きているみんなの思いを束ねてきたきょうされんが今年40周年を迎えます。

その隊列に加わらせてもらった私がこの北海道で迎える大会の副実行委員長を仰せつかり、身が引き締まる思いです。生きている中で、色々な試練を潜り抜けていかなければならないのが人生かもしれませんが、昨年開催したきょうされん39回熊本大会に初めて参加し、過去に何度か訪れ熊本城を見て、地震の大きさを改めて感じさせられました。そんな中で大会を開くという勇気に心打たれ、そしてどんなに障害が重くても、全国各地から参加された皆さんにも感激しました。この勇気が人権を守ることへの橋渡しになるものとして、最後の全体会の舞台で、旗を受け取り、北海道からの参加者は心ひとつになったと確信しています。

北海道も昨年大会は台風のため、大変な被害を受けるなかで、道東のJRの線路が落ちてしまい、釧路・札幌間の直行便は動くことが出来なくなってしまうなか、北海道支部の支部長は釧路に住んでおり、40回全国大会の実行委員会には、マイカーを飛ばしてくるか、飛行機で往復しなければならない現状のなかで、北海道で開催する40回大会を何としても成功させる思いで、年末にも実行委員会責任者会議を開催し、意思統一してまいりました。

年が明け、大会まで8か月を切りました。何としても成功させなければならないと凍りつくような寒さのなかで、実行委員会は熱く燃えています。そして5月には、桜・梅などいっせいに花が咲き乱れ、夏にはラベンダーが咲き乱れるなかでよさこいソーラン祭りに障害者も参加し、秋は山々の木々が色とりどりの絵の具をちりばめ、そして9月、私たち北海道支部は、ラベンダー色のTシャツに身を包み、

「ようこそ こんにちは時計台の街 希望を夢で 終わらせない できないことは あせらないで 声を集めて まとめて見たい・・・」

全国の皆さん、心からお待ちしています。

そして北海道支部の皆さん、熱い心と壮大な勇気で寒さを吹っ飛ばし、成功させるために、今からみんなでがんばりましょう。

全道で支部会員訪問活動が始まっています！

いよいよ見えてきた大会の中身を少しだけ公開！中でも進行が着々と決まってきた企画I局担当者から直接全国の仲間に案内をしてもらましょう。

きょうされん北海道支部では顔の見えるつながりを大切にしています。現場の責任者から現状を本人生の声を全国の方々にお伝え致します♫

（写真は、旭川冬まつりでみかけたくまモンです！）

ステージ企画準備作業進行中！！

「期待と不安の中で」

さぁ、いよいよ全国大会が開催される年になりました！！年明けに企画I局の高井局長と山田担当者は冬の北海道と比べてとても暖かい東京へ打ち合わせに行ってきました。全体会会場のレイアウトや舞台装置などで手伝っていただくアステムさんとの顔合わせです。（※真新しい東京本部もついでに堪能。）イベントのプロであるアステムさんの知見もいただきながら大ホールで行われる全体会だけでなく、様々なことについて打ち合わせ。「全国大会とはこういうものなのか…。」不安と期待が入り混じります。

「会場のスケールに負けない企画を」

大雪に見舞われた２月３日には、アステムさんと共に会場である札幌コンベンションセンターを視察し、会場の担当者とも面会しました。大ホールは何といっても広いということ。そして、舞台が床からせり出してくるカッコいいステージです。この会場に負けないくらいの企画を考えねばと力が入ります！！

「北海道ならではのアイヌ舞踏も」

今回の全国大会はきょうされん４０周年の記念大会ということでステージ企画では、共同作業所の５０年史を振り返る大河企画「作業所づくり運動～そのものがたり～（仮題）」を上演します。ただいま、キャスティングとシナリオを作成中。その他にもオープニング企画では、大会テーマソング「つなげよう時計台の街から」の大合唱、文化企画では「アイヌ舞踊」といった北海道ならではの企画も満載です。

歓迎交流会はアサヒビール園に決定！！

きょうされん会員が大好きなビールといえば…そうです、そうです自動販売機事業でお世話になっている「アサヒスーパードライ」！！知っていましたか？札幌市にビール工場があるのはアサヒビールだけなんです。その工場に隣接するアサヒビール園で出来立てビールを堪能できます。ジンギスカンをはじめとする食事も盛りだくさんにできるよう企画局のメンバーが鋭意交渉中！！北海道支部は食べ物の交渉には熱が入ってます！！

報告者　社会福祉法人ホープ　就労継続支援B型　フロンティア登別

施設長　山田大樹（全国大会実行委員会企画I局ステージ企画担当責任者）